

荒尾市民病院

ARAO MUNICIPAL HOSPITAL



市民を愛する 市民に愛される 病院へ

臨床研修プログラムの目的と特徴

救急医療から専門医療まで研修可能
荒尾市唯一の急性期病院として、

- 目的
- ①一般的な診療において頻繁に行われる負傷又は疾病に適切に対応できるような基本的な診察能力(態度、技能、知識)を身に付けさせること。
 - ②医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、医師としての人格を涵養し、人間性、社会性にも重点をおいた良質な医療を学ばせること。
- 特徴
- ①地域の中核病院における救急医療研修を通して、幅広い分野における症例を救急専門医の指導のもと数多く経験できることで、基本的な救急処置技術を習得することができます。
 - ②癌疾患等の専門性の高い医療を経験することにより医療の可能性と限界を理解し、併せて将来の専門分野の選択にも役立たせることができます。
 - ③地域の医療機関、診療所、予防医学等の院外での地域医療を経験させ、地域に根ざしたプライマリ・ケアを習得することができます。
 - ④カンファレンスや臨床病理検討会等に参加することにより、多様な疾病の多面的な捉え方を学ぶことができます。
 - ⑤リスクマネジメントや感染対策等の院内会議に参加することにより、患者の安全を第一に考える医療を学ぶことができます。

アピールポイント

最新の高度で良質な医療を経験

本院は荒尾市唯一の急性期病院で、自治体病院として、また、有明地域の中核病院として、市民はもとより有明地域住民の医療の安心と安全、健康の維持増進のため、最新の高度で良質な医療の提供を行っています。
特にウォークインで来院される救急患者の中に含まれる三次救急の患者を見落とさないことが重要と考え指導を行っています。
地域住民に必要とされ、信頼される、そして支えられている“いい病院づくり”に全職員一丸となって励んでいます。
「市民を愛する 市民に愛される 病院へ」

臨床研修プログラム

■初期臨床研修 週間スケジュール

1年次:診察科目/内科

曜日	月	火	水	木	金
午前	外来と病棟研修を中心にスケジュールを組みます。また、科の特性により手術、透析、お産等があります。				
午後	※研修医自ら希望を設定できるように調整いたします。				

■初期臨床研修 年間スケジュール

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	救急科		内科			外科						
場所	荒尾市民病院・日本医科大学付属病院(救急救命科)			荒尾市民病院・米の山病院・大牟田天領病院(呼吸器科)			荒尾市民病院					

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	麻酔科	産婦人科	精神科	小児科	選択研修	地域医療			選択研修科目			
場所	荒尾市民病院	いしかわ産婦人科 大牟田市民病院 荒尾市民病院	荒尾市民病院 荒尾こころの郷病院 有働病院	荒尾市民病院 熊本大学医学部附属病院 大牟田市民病院	※研修医と打ち合わせの上決定します。	有働病院 鴻江病院 米の山病院 荒尾こころの郷病院 大牟田市民病院 大牟田天領病院 日本医科大学付属病院(救急救命科)	※荒尾市民病院・熊本大学医学部附属病院(呼吸・神経内・小児・泌尿器科)・日本医科大学付属病院			米の山病院 鴻江病院	熊本大学医学部附属病院を除く医療機関	

[指導医からのメッセージ]
The message from an advising doctor



荒尾市民病院
救急科部長
(救急専門医)

松園 幸雅
Yukimasa Matsuzono

当院は地域のの中核病院であり、急性期病院でもあります。体験する症例は幅広く、二次救急医療機関としてCommon Diseaseはもとより、重症外傷例や敗血症例にも対応。脳卒中・心筋梗塞・急性腹症・多発外傷については24時間体制が整っています。また、来院(搬送)された救急疾患の患者さんの診断が確定に至るまでといった、初期診療全般に携わる研修内容も特徴。その後、退院までの根治治療も研修できます。
ほか、地域の医療機関や診療所など院外での地域医療を経験し、地域に根ざしたプライマリ・ケアを習得できる環境にあります。興味のある皆さん、歴史と実績のある救急医療・高度医療を提供している当院へぜひ、見学に来ませんか?熱心な指導医がお待ちしています!

荒尾市民病院

後期研修について

総合医として、「日常的な病気の診断と治療」「患者の最善利益を考え、問題に対処できる能力」「院内チーム医療のマネジメント」「在宅医療・健康増進・疾病予防に寄与」ことが目的です。当院では2コース準備しています。「標準コース(総合医希望者)3年」「リフレッシュコース(新規開業等)8か月」

MESSAGE 先輩研修医からのメッセージ

「自分がやるしかない」という責任感の中で、救命救急や総合診療を実践的に経験できます。

研修1年目 蓼田 理彦
MASAHIKO MINODA



地元が好きなので、研修は熊本県内で決めていました。初期研修では実家から離れて1人暮らしをしたいと思い、熊本市外の病院を検討。中でも「荒尾市民病院」は、熊本・福岡双方への交通アクセスが良く、また研修プログラムで日本医科大学附属病院の救命救急科での研修も選べることを魅力に感じました。また、研修医が少ない市中病院であり、自分から前が出るタイプではない私もしっかり実践的に学べそうだったことも、大きなポイントです。

当院での研修は、症例数は多すぎず少なすぎず丁度いいので、消化不良になることなく、症例レポートにもじっくり取り組みます。少人数制で「自分がやるしかない」環境のため、CV挿入も適度に回ってきたりと、手技の機会も豊富です。上級医も「この手技を経験した方がいいよ」と他科でも関わらずに実践させてくれます。

先日、救急科研修の最終日に救急車が次々と到着しました。当院は「断らない」病院なので、私たち研修医も戦力として対応に当たりました。そのとき手渡されたのがドリル。高所から落ち骨折した患者様の骨に銅線を入れるためのものです。上級医の見守りのもと、救急現場で初めて行う手技にかつてないほど緊張。この夜を乗り越えたことで大きく成長することが出来ました。当院は5万人規模の都市でありながら救急専門医が2名おり、他の専門科の先生方もプライマリ・ケアや救急の対応力とスピードが素晴らしいです。自分も同じレベルに達せるように頑張っています。

当院では、自分のペースや希望に応じた研修が可能です。研修医のやる気に応じて環境を整えてくれる懐の深さもあります。地方都市の市中病院という環境は、地域医療や総合医療を実践的に学べる恵まれた場所だと思います。一緒に医師としての総合力を磨きましょう！

診療科一覧

- 内科
- 外科
- 産婦人科
- 小児科
- 整形外科
- 循環器内科
- リハビリテーション科
- 麻酔科
- 呼吸器内科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 脳神経外科
- 神経内科
- 消化器内科
- 形成外科
- 血液内科
- 代謝・内分泌内科
- 腎臓内科
- 緩和ケア内科
- 救急科
- 病理診断科
- 放射線治療科
- 画像診断・治療科
- 眼科
- 精神科

研修・認定施設一覧

- がん診療連携拠点病院
- 脳卒中急性期拠点病院
- 急性心筋梗塞急性期拠点病院
- 急性心筋梗塞回復期医療機関
- 保険医療機関認定施設
- 労災保険指定医療機関
- 救急告示病院
- 感染症指定医療機関(第二種)
- 臨床研修病院(基幹型・協力型)
- 日本医療機能評価機構認定病院(ver.6.0)
- 日本外科学会外科専門医制度関連施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- 日本整形外科学会研修施設
- 日本内科学会認定教育施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 日本産婦人科学会専門医制度委員会卒業後研修指導施設
- 日本脳神経外科学会専門医訓練施設
- 日本麻酔科学会認定病院
- 日本血液学会血液研修施設
- 日本脳卒中学会研修教育病院
- 日本周産期・新生児医学会認定施設
- 母体保護法指定病院
- 日本外傷学会外傷専門医研修施設
- 日本医学放射線学会放射線専門医訓練機関
- 日本がん治療認定研修施設
- 日本神経学会専門医准教育施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設



1日平均外来患者数 / 370人(平成28年度実績)
1日平均入院患者数 / 217人(平成28年度実績)
年間手術件数 / 1,225件(平成28年度実績)

所在地	〒864-0041 熊本県荒尾市荒尾2600番地
開設者	荒尾市
開設年月日	昭和16年10月1日
院長名	病院事業管理者 大嶋 壽海(おおしま ひさみ)
病床数	274床(一般270床、感染症4床)
標榜科	内科、外科、産婦人科、小児科、整形外科、循環器内科、リハビリテーション科、麻酔科、呼吸器内科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、神経内科、消化器内科、形成外科、血液内科、代謝・内分泌内科、腎臓内科、緩和ケア内科、救急科、病理診断科、放射線治療科、画像診断・治療科、眼科、精神科
医師数	40名
指導医数	20名
研修医数	初期研修医3名
専門医	外科6名、整形外科3名、脳神経外科2名、放射線治療科1名、放射線診断科1名、産婦人科2名、麻酔科3名、形成外科1名、血液内科1名、循環器内科2名、救急科1名、小児科1名、病理診断科1名、代謝・内分泌内科1名、神経内科1名

募集要項	医師国家試験合格見込みの方
応募資格	詳細は応募連絡先にご連絡ください
応募締切	詳細は応募連絡先にご連絡ください
試験日程	論文・面接
試験内容	当院規程に準ずる(正職員)
給料	賞与(年2回)、医師業務、超過勤務、住居、通勤、扶養等(常勤医師と同じ)、退職手当有り
諸手当	有(年間20日)
年次有休休暇	有(年間20日)
宿舎	有(民間アパート借上げ)、家賃補助8割(最大4万円)
保険	熊本県市町村職員共済組合
医師賠償責任保険	病院加入有、個人加入任意(個人負担)
当直の回数	2~4回/月(希望により変更可能)

応募連絡先	所在地 熊本県荒尾市荒尾2600番地
	担当部署 総務課
	T E L 0968-63-1115(内線)511
	F A X 0968-63-1189
	E - m a i l hospital@city.arao.lg.jp
	U R L http://www.hospital.arao.kumamoto.jp/

ACCESS



福岡空港から
地下鉄利用で博多駅で乗り換え荒尾駅へ。もしくは、空港から西鉄高速バス利用、1時間40分。

JR荒尾駅から
JR荒尾駅前産交バス利用、バスセンター方面行きに乗り、市民病院前下車。

南関インターチェンジから
九州自動車道「南関インターチェンジ」より、県道5号線を経て県道29号線へ。岱洋区交差点を左折、約2.5km直進した右手。